

## 全ての子どもたちに“教育”を ふくしま未来研究会・奨学金目録を手交



目録書を手交する太田町長（右）と佐藤代表理事（左）

一般財団法人ふくしま未来研究会が運営する給付型奨学金制度「清水奨学金」の対象が国見町を含む5市町に拡充されたことを受け、同会の佐藤勝三代表理事は10月23日、太田久雄町長に制度の概要を説明し、目録書を手交しました。

目録書の手交は国見町役場で行われ、佐藤代表理事が「子どもたちが将来県内に戻ってきて活躍できるように支援していきます」、太田町長が「さらなる教育の推進と教育機会の均等に向けて努力をしていきます」とあいさつしました。

この奨学金は、福島に生まれ育った子どもたちが将来さまざまな舞台で活躍することを願って設立されたもので、高校等への進学を予定する中学3年生を対象としています。

国見町幼小中一貫教育事業「くにみっ子まつり」が11月1日、国見小学校体育館で行われ、くにみ幼稚園、国見小学校、県北中学校の園児および児童生徒約640名による交流活動が行われました。

くにみっ子まつりでは、園児・小学生・中学生の混成グループに分かれ、中学生の指導のもとで練習したダンスを全員で披露。息の合った踊りに会場は一体感に包まれました。ステージ発表では、幼稚園、各学校ごとにダンスや合奏、合唱を披露して交流を深めました。

上級生が下級生の手をとってリードする姿に、くにみっ子の頼もしさを感じるとともに、笑顔いっぱいの子どもたちから元気ももらう一日となりました。

## くにみっ子の笑顔あふれる 幼小中一貫教育事業「くにみっ子まつり」



練習したダンスを披露するくにみっ子たち

## オール国見で子どもを育てる 国見町教育フォーラム2018



『地域とともにある学校づくり』と題して行われた大山氏の講話

国見町教育フォーラム2018が11月17日、観月台文化センターで開かれました。

第1部の講話では、文部科学省コミュニティ・スクールマイスターの大山賢一氏が「学校・家庭・地域、そして行政や企業が当事者意識を持ち、子どもたちの教育の充実に向けて連携して取り組むこと。学校と地域が共通の目的、育みたい子どもの姿を持つことが大事です」と呼びかけました。

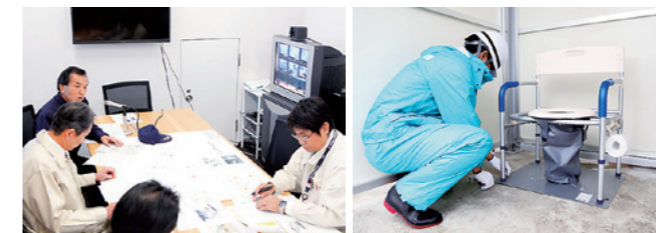
第2部のグループワークでは、さまざまな教育課題を解決するための方策について熱心な議論が展開され、今後の教育や保育の充実に向け、参加者から提案された意見を全体で共有しました。

町では、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部事業を両輪とした、学校と保護者、地域が一体となった教育施策を推進しています。

## 災害時相互応援協定を締結 国見町と福島河川国道事務所



協定書を交わす太田町長（左）と小浪所長（右）



テレビ電話による情報伝達訓練 非常用トイレ設置訓練

国見町と国土交通省福島河川国道事務所は11月1日、災害時相互応援協定を締結しました。

締結式は道の駅国見あつかしの郷で行われ、太田久雄町長と小浪尊宏福島河川国道事務所所長が協定書を交わしました。太田町長が「住民はもちろん、通行者を含めた地域の安全安心の担保に向けて連携していきます」、小浪所長が「国見町は東北の人・物流のライフラインを守る上で重要な場所。万全の体制を整えていきます」とあいさつしました。

この協定は、平成26年2月に発生した記録的な降雪により、国道4号で長時間にわたる渋滞が発生した教訓を受けて締結するもの。非常時には、道の駅国見あつかしの郷や観月台文化センターを防災拠点や避難所として有効利用することなどにより、町と国が相互に連携して地域の安全安心を守る体制を構築します。

また、協定に基づき、大雪を想定した交通確保訓練が11月9日に行われ、太田町長と小浪所長によるテレビ電話での情報伝達や道の駅での非常用トイレの設置など、非常時の対応を確認しました。

- 表彰受賞者 ※国見町のみ、敬称略
- 【大会長桑折町長・福島北警察署長連名表彰】
    - ▶交通安全功労者（個人）／鈴木正則、遠藤優子
    - ▶交通安全優良団体・事業所／株式会社荏原風力機械国見工場
  - 【福島北警察署長・桑折地区交通安全運転管理者協会会長連名表彰】
    - ▶平成30年度交通事故防止コンクール／有限会社徳江電気商会、ツカサ運輸株式会社、秋元造園株式会社、有限会社大和田金物店、根本建設株式会社国見支店、国見生コンクリート株式会社
  - 【福島県交通対策協議会長表彰】
    - ▶交通安全活動協力者／村上キミ子
  - 【福島県警察本部長・福島県交通安全協会会長連名表彰】
    - ▶交通安全功労者／松浦重雄、▶優良運転者／佐藤喜徳、吉田繁、▶交通安全優良学校／国見町立県北中学校

### 事故ゼロへ誓い新たに 桑折町・国見町交通安全大会

桑折町・国見町交通安全大会が11月17日、桑折町民体育館で開かれました。

大会では、交通安全功労者などの表彰が行われたほか、藤田地区交通安全委員の阿部みさ子さんが交通安全に関する提言を発表し、参加者全員で交通事故ゼロへの誓いを新たにしました。

▶大会で提言を発表する阿部さん

## 安全安心な道路の早期実現を

国道4号伊達拡幅事業推進などを要望

太田久雄町長は10月31日、財務省と国土交通省を訪問し、国道4号伊達拡幅事業の推進などを要望しました。

国道4号の4車線化を目指す伊達拡幅事業は、交通渋滞の緩和や道の駅利用者の安全・安心を確保するために早期の整備が求められることから、予算の確保と事業推進を要望し、財務省の阪田渉主計局次長と国土交通省の由木文彦国土交通審議官に要望書を手渡しました。



由木審議官（右）に説明する太田町長（左）